

No.

領域：	ビジネス/グローバル領域		
テーマ：	基礎的統計手法を用いた企業分析：戦略論・組織論における統計手法の活用		
担当者名：	高 永才		
開講時期：	2017年度 前期 火曜4・5・6限	募集定員：	25 名
内容：	<p>企業を取り巻く環境は日々変化している。こうした変化に対し、企業は環境に適した戦略を構築し、組織的対応を行う。こうした企業の環境適応行動とその成果は様々な統計的指標から理解することができる。だが、これらの指標が何を意味するか理解できなければ、企業がどれだけ環境に適応し成果を出しているか理解することはできない。よって、本プロジェクトは、統計学の基礎的な手法を学ぶと共にそれらを使い企業行動を読み解く。さらに、学んだ統計の内容をレポートや卒業論文の執筆に活用することを目指す。</p>		
到達目標：	統計手法の基礎を学び、経営指標や成果を読み解くと共に、基礎的手法を活用する。		
講義方法：	<p>① 統計のテキストを用いて基礎的な手法を学習する。 ② 学んだ手法を用いて企業分析を行うと同時にディスカッションを行う。</p>		
準備学習：	特になし。		
成績評価：	<p>① 統計のテキストを毎回一章ずつ予習して、質問事項を作成（30%） ② 企業のケースの分析（要約）（30%） ③ 授業中の態度、発言及び参加の程度（40%）</p>		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1(端数は切り捨て)以上を欠席した場合は、単位を修得することができません（「欠席」と評価します）。		
講義構成：	<p>① 講義（90分×1コマ）×15回 ② 企業分析（90分×1コマ）×15回 ③ グループワーク（90分×1コマ）×15回</p>		
履修条件：	「教養実践Ⅱ」又は「企業と経営Ⅱ」のいずれかの科目の履修を授業の理解を高めるため推奨するが、履修者でなくとも受講可能。		
推奨科目：	特になし。		
選考方法：	定員を超えた場合は、経営学入門Ⅰ、Ⅱの成績を判断材料として用いる。		
備考：	テキストは、シラバス公開時に指摘する。		
説明会：	なし。		